

保護者等からの児童発達支援事業所評価の集計結果（公表）

この「保護者等からの事業所評価の集計結果（公表）」は、保護者等の皆様に「保護者等向け児童発達支援評価表」により事業所の評価を行っていただき、その結果を集計したものです。

公表：平成 31年 4月 1日

事業所名 みらいデイサービス あすなるクラブ本庄

保護者等数（児童数） 10 人 回収数 8 人 割合 80 %

	チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない	ご意見	ご意見を踏まえた 対応
環境・ 体制 整備	1 子どもの活動等のスペースが十分に確保されているか	8				・明るくきれいな活動スペース・問題ない	利用児童に応じて構造化を実施、スペースを確保
	2 職員の配置数や専門性は適切であるか	8				・玄関に表示されておりわかりやすい	掲示を踏まえ、お伝えする
	3 生活空間は、本人にわかりやすく構造化された環境*1になっているか。また、障がいの特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされているか	6	1		1	・文字が分からない幼児にもイラストや写真の表示がある・スケジュールにも慣れて動いている・様子を見ていないので分からない	利用児童に応じて構造化や視覚支援等にて情報伝達に配慮していく
	4 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっているか	8				・いつも掃除の行き届いた部屋で活動出来ていると思う	毎日掃除を実施する
適切な 支援の 提供	5 子どもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、 <u>児童発達支援計画*2</u> が作成されているか	8				・目標が少しずつ達成出来ている	児童や保護者等のニーズを踏まえて作成を実施する
	6 <u>児童発達支援計画</u> には、 <u>児童発達支援ガイドライン</u> の「児童発達支援の提供すべき支援」の「発達支援（本人支援及び移行支援）」、「家族支援」、「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか	7	1			・色々な活動を楽しみながら何か少しでも学んでほしい・毎回色々な事に体験させてもらっているのがありがたい	家族や関係機関とも連携しながら支援内容を設定していく
	7 <u>児童発達支援計画</u> に沿った支援が行われているか	8					支援計画に基づいた支援を実施する
	8 <u>活動プログラム*3</u> が固定化しないよう工夫されているか	8					活動を発展させながら実施していく
	9 保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、障がいのない子どもと活動する機会があるか		3		5	・特に必要性を感じない ・現状のままで良い ・保育園に入っていない	必要があれば、保育園等の見学や行事参加に繋げる
	10 運営規定、利用者負担等について丁寧な説明がなされたか	8				・十分過ぎる程、説明頂いた	契約時に丁寧に説明を実施
	11 <u>児童発達支援ガイドライン</u> の「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「 <u>児童発達支援計画</u> 」を示しながら支援内容の説明がなされたか	7	1			・通所前にきちんと時間をとってもらい説明を受けたので安心して子供をお任せ出来た	保護者等のニーズを踏まえ支援計画を作成し、説明をした上で同意を得る

保護者への説明等	12	保護者に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング*4等）が行われているか	3	1	4	・連絡帳に関わり方、声かけ等たくさんアドバイスを頂けた・都度スタッフと話しが出来ている	必要に応じて家族支援を実施していく
	13	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの健康や発達の状況、課題について共通理解ができているか	8			・送迎時に様子を聞ける ・毎週、活動報告を見るのが楽しみ	常に情報共有に努める
	14	定期的に、保護者に対して面談や、育児に関する助言等の支援が行われているか	6	1	1		必要に応じて実施していく
	15	父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により保護者同士の連携が支援されているか	5	2	1	・まだ参加出来ていない ・ぜひ参加したい	保護者様が参加しやすいように開催日を設定する
	16	子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、子どもや保護者に周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されているか	8				迅速適切に対応をする
	17	子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされているか	7	1		・送迎時に子供の様子を話してもらえることが楽しみ	連絡帳や電話連絡を実施
	18	定期的に会報やホームページ等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信されているか	6	1	1	・通信にて活動の様子を拝見出来る・楽しく見ている	通信にて定期的に発信するホームページを活用する
	19	個人情報の取り扱いに十分注意されているか	8				十分に配慮する
非常時等の対応	20	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、保護者に周知・説明されているか。また、発生を想定した訓練が実施されているか。	7		1		マニュアルを周知し定期的に実施、公表する
	21	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出、その他必要な訓練が行われているか	3	1	4	・大規模災害時に連絡がつか不安	定期的に実施し公表する
満足度	22	子どもは通所を楽しみにしているか	8			・楽しみで嫌がる様子はない・毎回楽しんでいる	楽しみとなるよう活動内容を設定する
	23	事業所の支援に満足しているか	8			・見学日があると嬉しい ・満足している	見学日の設定、保護者様と共通認識を持って取り組む

*1 「本人にわかりやすく構造化された環境」は、この部屋で何をするのかを示せるように、机や本棚の配置など、子ども本人にわかりやすくすることです。

*2 「児童発達支援」は、児童発達支援を利用する個々の子どもについて、その有する能力、置かれている環境や日常生活全般の状況に関するアセスメントを通じて、総合的な支援目標及び達成時期、生活全般の質を向上させるための課題、支援の具体的内容、支援を提供する上での留意事項などを記載する計画のことです。これは、児童発達支援センター又は児童発達支援事業所の児童発達支援管理責任者が作成します。

*3 「活動プログラム」は、事業所の日々の支援の中で、一定の目的を持って行われる個々の活動のことです。子どもの障害の特性や課題等に応じて柔軟に組み合わせて実施されることが想定されています。

*4 「ペアレント・トレーニング」は、保護者が子どもの行動を観察して障害の特性を理解したり、障害の特性を踏まえた褒め方等を学ぶことにより、子どもが適切な行動を獲得することを目標とします。